

今年は！平成最後の年末ということで！！

2018年を振り返る世相キャッチャーではなく、30年間を振り返り

懐かしい商品や当時の流行品などを集めたクレーンゲーム

【平成こんなのあったよねキャッチャー】

4週連続登場の第1弾は『バトル鉛筆』が景品で登場しました!!

株式会社東洋(本社:埼玉県北本市/代表取締役社長 中村秀夫 以下、当社)が経営する、1店舗当たりのクレーンゲーム設置台数がギネス世界記録に認定されている「世界一のゲームセンター エブリデイ行田店(埼玉県行田市)」は、2018年12月6日に、【平成こんなのあったよねキャッチャー】第1弾を登場させました。

平成こんなのあったよねキャッチャー って何？

当社では、年末になると、クレーンゲームでその年1年を振り返る【世相キャッチャー】というのを展開してきました。今年は、平成最後の年末ということで、今年1年ではなく、『平成という時代、30年を振り返ってみよう』ということで、この30年間に流行った物などで、懐かしいと思ってもらえる物や、30歳未満の方には、こんな物が流行ったんだと平成の歴史を感じてもらえるような物を景品に採用したクレーンゲームを考えました。それが【平成こんなのあったよねキャッチャー】です。

平成こんなのあったよねキャッチャーは、全4弾のクレーンゲームとして、2018年12月、4週連続で登場予定です。

第1弾は、筆記用具なのに、持て行くのが禁止になる学校も現れる程の人気の、社会現象にもなった、転がして対戦して遊べる鉛筆(通称:バトル鉛筆)が景品となっております。

この台の企画・製作者(30代男性)によると、『小学生の時にドラゴンクエストのバトル鉛筆が流行って、学校で友達とバトルをした記憶があります。本当は、当時のドラゴンクエストのバトル鉛筆を景品に採用したかったが、今は製造されてないのか、景品の数が確保が出来なかったの、バトル要素のある他の鉛筆を探しました。当時バトルをやったことのある世代の方が、今は父親・母親世代になっていると思うので、お子さんと懐かしみながら楽しんでもらったり、当時の流行を知らない今のお子さん達にも楽しんでもらえたら嬉しいです。』とのこと。



↑バトル鉛筆は、3本入り1セットを2タイプ用意

【ご連絡・お問い合わせはこちら】

会社名: 株式会社東洋
広報担当者: 緑川裕一(みどりかわ ゆういち)
担当携帯: 080-6858-9626
担当メール: midorikawa@everyday.co.jp

住所(本社): 埼玉県北本市中丸9-211
最寄駅: JR高崎線 北本駅
電話番号: 048-593-0999
FAX番号: 048-593-0997
HP: <https://ufo-everyday.com/>